

平成24年度事業報告及び収支決算について

平成24年度事業報告（案）

1. 会員の入会状況

平成24年度における会員の入会は、個人会員は492名、団体会員は26団体である。

2. 会議等の開催

(1) 設立総会

期 日：平成24年6月25日（月）

場 所：（公社）日本下水道協会会議室

出席者：個人会員163人、団体会員9団体

概 要：安中・日本下水道協会理事長の開会挨拶の後、設立準備会メンバーの栗原秀人氏を議長に選任した。

最初に、議事録署名人の選任が行われ、会場より坂本弘道氏（一般社団法人日本水道工業団体連合会専務理事）、長谷川健司氏（公益社団法人日本下水道管路管理業協会会長）を推薦する意見があり、異議なく選任された。

次に、議案の審議が行われ、第1号議案「設立趣意書（案）」及び第2号議案「規約（案）」について、事務局より説明した。

第2号議案について、フロアより、「企画運営委員会に関する内容を第17条の3項以降に盛り込むべき」、「第17条に定める理事会について議決に関する項目を設けるべきでは」との質問・意見があった。これについては事務局で整理することとし、承認された。

第3号議案「役員（正副会長、理事、監事）の選任について」は、事務局から役員について定める規約（第10条）を説明し、役員候補として下記の方々を提案し、全会一致で可決した。

会長＝長岡裕・東京都市大学教授

副会長＝前田正博・東京都下水道サービス㈱代表取締役社長

松木晴雄・一般社団法人日本下水道サービス㈱代表取締役会長

理事＝栗栖聖・東京大学先端科学技術研究センター講師

監事＝亀田泰武・NPO法人21世紀水倶楽部理事長

アドバイザー及び企画運営委員会委員について、長岡会長との

事前審議により決めた下記の方々が推薦された。

○アドバイザー

岡久宏史・国土交通省水管理・国土保全局下水道部長

小林由夏・一般社団法人水と環境の未来研究所

○企画運営委員会委員

委員長＝加藤裕之・国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水
道企画課下水道事業調整官

副委員長＝栗原秀人・メタウォーター(株)技監

委員＝阿南理恵・メタウォーター(株)経営戦略室広報部チーフ

荒井健・月島機械(株)総務人事部総務グループ副参事

井上佳昭・東京都下水道局総務部広報サービス課長

斎野秀幸・国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道
企画課課長補佐

武田教秀・日本水道新聞社記者

田雑重信・公益社団法人日本下水道協会総務部長

春田満雄・前澤工業(株)広報・I R部長

藤原昇・日之出水道機器(株)広報担当執行役員

本田康秀・横浜市環境創造局下水道計画調整部下水道事業
調整課担当課長

山地健二・神戸市建設局下水道河川部計画課長

第4号議案「平成24年度の取り組みについて」は、事務局より「下水道広報プラットフォーム平成24年度の取り組み案」、「下水道広報プラットフォーム収支予算の考え方」について説明し、承認された。

その他、参加者よりGKP等への意見をご披露いただいた。

最後に議長より、3つの活動（「発掘・深掘・露出」、「場の創出」、「特別企画の実施」）を通じて進めていきたいが、やってもらうのではなく、自らやるのがGKPの趣旨との話しがあり、閉会を宣言した。

(2) 役員意見交換会

期 日：平成24年9月27日（木）

場 所：(公社)日本下水道協会会議室

出席者：長岡会長、前田副会長、松木副会長、亀田監事、岡久アドバイザー、小林アドバイザー、加藤企画運営委員長、栗原企画運営副委員長、曾小川日本下水道協会理事長、外

概 要：加藤企画運営委員長から、これまでの活動状況及び今後の課題について説明の後、意見交換を行い、下記のような意見があっ

た。

- ・身近なテーマで全国的なムーブメントにつながる活動を展開してほしい。
- ・会員獲得のため、もっと情報発信してほしい。
- ・学生会員を募り、学生に企画提案してもらったらどうか。
- ・下水道界以外にも積極的に出向き、PRしてほしい。
- ・全国的な連携が必要である。
- ・「ミス水の天使」を活用して、下水道界以外にも下水道の認知度を上げるべき。

(3) 企画運営委員会

下水道広報プラットフォーム設立以降、10回の企画運営委員会を開催した。

① 第1回企画運営委員会

期 日：平成24年7月5日（木）

場 所：（公社）日本下水道協会会議室

出席者：加藤委員長ほか委員9名

議 題：エコプロダクツ2012への出展、GKPの情報収集・蓄積・管理・共有について、等

② 第2回企画運営委員会

期 日：平成24年7月13日（金）

場 所：（公社）日本下水道協会会議室

出席者：加藤委員長ほか委員7名

議 題：今後の一木会、「下水道の日」のイベント、下水道展の活動計画について、等

③ 第3回企画運営委員会

期 日：平成24年7月31日（火）

場 所：（公社）日本下水道協会会議室

出席者：加藤委員長ほか委員10名

議 題：「下水道の日」のイベント、平成24年度の活動と取り組み、担当委員の分担について、等

④ 第4回企画運営委員会

期 日：平成24年8月10日（金）

場 所：（公社）日本下水道協会会議室

出席者：加藤委員長ほか委員8名

議 題：「下水道の日」のイベントについて、等

⑤ 第5回企画運営委員会

期 日：平成 24 年 9 月 13 日（木）
場 所：（公社）日本下水道協会会議室
出席者：加藤委員長ほか委員 8 名
議 題：「下水道場」の開催、情報ボックスの構築、エコプロダクツ 2012
への出展、大人の社会科見学ツアーについて、等

⑥ 第 6 回企画運営委員会

期 日：平成 24 年 10 月 4 日（木）
場 所：（公社）日本下水道協会会議室
出席者：加藤委員長ほか委員 10 名
議 題：情報ボックスの構築、GKP 広報大賞、エコプロダクツ 2012
への出展、大人の社会科見学ツアー、キッチン・バス工業会と
のコラボについて、等

⑦ 第 7 回企画運営委員会

期 日：平成 24 年 11 月 1 日（木）
場 所：（公社）日本下水道協会会議室
出席者：加藤委員長ほか委員 9 名
議 題：GKP 広報大賞、エコプロダクツ 2012 への出展、大人の社会
科見学ツアー、キッチン・バス工業会とのコラボ、WBC の
活用、マンホールマップ開発者との連携について、等

⑧ 第 8 回企画運営委員会

期 日：平成 24 年 12 月 6 日（木）
場 所：（公社）日本下水道協会会議室
出席者：加藤委員長ほか委員 9 名
議 題：大人の社会科見学ツアー、関西地区での活動、WBC の活用、
キッチン・バス工業会とのコラボ、WBC の活用、エコプロ
ダクツ 2012 への出展について、等

⑨ 第 9 回企画運営委員会

期 日：平成 25 年 2 月 7 日（木）
場 所：（公社）日本下水道協会会議室
出席者：加藤委員長ほか委員 9 名
議 題：一木会、エコプロダクツ 2012 への出展、大人の社会科見学ツ
アー、下水道博物館実態調査、「下水道場」、下水道展'13 東京
の企画について、等

⑩ 第 10 回企画運営委員会

期 日：平成 25 年 3 月 7 日（木）
場 所：（公社）日本下水道協会会議室

出席者：加藤委員長ほか委員 9 名

議 題：「下水道場」、下水道展'13 東京の企画、学生向けイベント、G
Jリンク、キッチン・バス工業会との連携、大人の社会科見
学ツアーについて、等

3. 活動概要

I. 発掘・深掘・露出

1. 「GKP 広報大賞」の企画・実施

下水道界で展開されている広報活動のうち、他業界への効果的な訴求など、下水道インフラの価値を高めるうえで優れていると思われる広報活動事例を広く発掘、表彰し、下水道界に広く普及させていくことを目的として、「GKP 広報大賞」を設け、募集を行った。

「GKP 広報大賞」は、グランプリ、準グランプリ、部門賞 ((1)報道部門 (①テレビ報道部門、②新聞報道部門、③雑誌等報道部門)、(2)広報部門 (①行政広報部門、②企業・団体等部門)、(3)広告部門、(4)電子媒体部門) により構成され、報道部門 5 件 (①テレビ報道部門 4 件、②新聞報道部門 1 件)、(2)広報部門 29 件 (①行政広報部門 23 件、②企業・団体等部門 6 件)、(3) 広告部門 1 件、(4)電子媒体部門 3 件、の合計 38 件の応募があった。

なお、選考・審査、表彰は、平成 25 年度に実施することとしている。

2. メールマガジンの発信

会員への情報提供を目的に、メールマガジンを 13 回発信した。

3. 個々の会員が持つメディアの活用

個々の会員が持つメディアを活用した情報発信を行った。

(例)・日経産業新聞への記事協力が発端となり、連載記事に発展
・タウン紙「江戸まち通信」(平成 24 年 7 月号) への記事掲載

4. 地域 FM 局の番組で下水道情報を放送

平成 24 年 7 月 21 日に、地域 FM 局「レインボウタウン FM」で「震災時の下水道の重要性とこれからの役割」の内容で放送された。

5. 朝日新聞への下水道関係記事広告掲載に対する制作協力

朝日新聞 (平成 24 年 9 月 9 日号) に日本下水道施設業協会傘下企業による広告掲載に対する制作協力を行った。

II. 場の創出（提供）

1. 「下水道展'12 神戸」での学生ツアーへの支援活動

「下水道展'12 神戸」で実施した学生ツアーに対する支援活動を行った。

実施日：平成 24 年 7 月 25 日（水）

場所：神戸市・神戸国際展示場

参加者：大学生等 26 人

2. 「下水道若手職員による情報ネットワーク（下水道場）設立会議」への支援活動

「下水道若手職員による情報ネットワーク（下水道場）設立会議」は、全国の国・地方自治体等の若手職員による情報交流の場を設けるために開催したもので、会議への支援活動を行った。

開催日：平成 24 年 9 月 10 日（月）

場 所：日本下水道協会大会議室

参加者：49 団体 71 人

3. 「川の日ワークショップ関東大会」での活動紹介

「川の日ワークショップ関東大会」で、栗原企画運営委員会副委員長から GKP の活動が紹介され、これに対して「下水道は知らせ方で変わるで賞」を受賞した。

開催日：平成 25 年 1 月 20 日（日）

場 所：川口フレンディア

4. わいがやトーク（一木会）の開催

(1) 第 1 回

開催日：平成 24 年 7 月 5 日（木）

テーマ：「GKP って何するの？」

パネリスト：加藤企画運営委員長、林・神戸市下水道河川部経営管理課長、黒澤・水 ing(株)経営企画統括経営企画室副参事、小林アドバイザー、(コーディネーター) 阿南企画運営委員

参加者：41 人

(2) 第 2 回

開催日：平成 24 年 10 月 4 日（木）

テーマ：「市民とのコミュニケーションツールの概観と SNS の利用の可能性」

講 師：栗栖聖（東京大学先端科学技術センター講師・下水道広報プ

ラットホーム理事)

参加者：48人

(3) 第3回

開催日：平成24年11月1日(木)

テーマ：「企業のCSRの意義について」

講師：長谷川健司(管清工業(株)代表取締役社長)

参加者：72人

(4) 第4回

開催日：平成24年12月6日(木)

テーマ：「下水道いりぐちNight」

講師：島崎喜和(キッチン・バス工業会常務理事)

参加者：約70人

(5) 第5回

開催日：平成25年2月7日(木)

テーマ：「アクアポリティクス～食料・土地・世界争奪戦から読み解く
水の安全保障～」

講師：梶原みずほ(朝日新聞GLOBE編集部記者)

参加者：52人

(6) 第6回

開催日：平成25年3月7日(木)

テーマ：「市民環境科学のすすめ～下水道と川と人のつながり～」

講師：小倉紀雄(東京農工大学名誉教授、みずとみどり研究会代表)

参加者：約60人

Ⅲ. 特別企画の実施

1. 下水道展'12神戸でのクイズラリーへの支援活動

下水道展'12神戸で、日本下水道協会と連携して下水道クイズラリーを実施した。

実施日：平成24年7月24日(木)～27日(金)

参加者：1,319人

2. 「ミス水の天使」の活動

- ・設立総会での司会進行
- ・下水道展'12神戸でのクイズラリー用務協力
- ・「下水道若手職員による情報ネットワーク(下水道場)設立会議」用務協力

・浜松市下水道イベントへの派遣支援

3. エコプロダクツ 2012 への出展支援

21 世紀の下水道を考える会協議会がエコプロダクツ 2012 に出展するにあたり、GKP が展示内容を企画するとともに、協賛企業を募った。

開催日：平成 24 年 12 月 13 日（木）～15 日（土）

場 所：東京ビッグサイト（東展示棟 3 号館 小間No.3-018）

小間数：6 小間（メタウォーターブース（4 小間）と連携）

協賛企業：月島機械(株)、日本上下水道設計(株)、前澤工業(株)

テーマ：「こども下水道場～下水道の 4 つの“スゴイ術”を学ぶのじゃ！～」

目 的：下水道が社会に対して果たしている重要な役割・価値を、将来を担う子どもたちに直感的に伝える。

来場者数：5,976 人（3 日間合計）

（内訳 1・学年等）

小学校高学年 2,019 人、大人 1,895 人、中学生 987 人、小学校低学年 305 人、大学生 194 人、高校生 164 人、幼児 103 人、未記入 309 人

運 営：当日の運営は、業務委託会社 12 人のほか、21 世紀の下水道を考える会会員団体職員、GKP の企画運営委員及び個人会員、団体会員であるメタウォーター(株)及び東京都下水道サービス(株)の社員やボランティア延べ約 75 人により行った。また、東京都下水道サービス(株)から顕微鏡を借用させていただいた。

4. 会員による積極的な情報発信

下水道界内外に向け、GKP 会員による「月刊下水道」等への記事掲載による積極的な情報発信を行った。

IV. 基礎構築

1. ホームページの構築と管理・運営

ホームページは設立総会以前より立ち上げ、活動方針、イベント情報、活動結果報告、情報共有等のサイトを設け、情報提供を行っている。累積アクセス数は、平成 25 年 3 月 31 日現在、287,968 件に達している。

2. クラウドシステム「WBC」の構築と管理・運営

GKP会員・運営委員・役員間の情報共有等を目的に、平成25年2月下旬、メタウォーター(株)のご協力により、クラウドシステム「WBC（ウォーター・ビジネス・クラウド）」を活用することとした。

3. 会員証の作成と送付

会員自らが下水道のプレゼンスを向上するために積極的に行動してもらう証として、また会員間の結束を高めるために会員証を作成することとし、平成24年8月に会員宛に送付するとともに、新入会員には発行していくこととした。

平成24年度下水道広報プラットフォーム(GKP)収支決算

(平成24年6月25日～平成25年3月31日)

○収入の部

項 目	平成24年度決算額	内 訳
1. 年会費(個人会員)	483,000	481名(2名前受会費含む)
(団体会員)	870,000	25団体
2. エコプロダクツ2012協賛金	336,000	協賛企業3社
3. 設立総会、一木会懇親会費収入	304,000	7回開催
4. 寄付金収入	78,960	
5. その他	62	普通預金利息
計	2,072,022	(A)

○支出の部

項 目	平成24年度決算額	内 訳
1. 総会費	469,650	講師謝金、懇親会
2. 役員会費	35,490	会議費
3. 企画運営委員会費	162,027	委員旅費、会議費
4. パンフレット作成費	59,850	印刷費
5. 会員証発行費	50,547	作成費、発送費
6. 一木会費	248,900	講師謝金、懇親会
7. 事務委託費	252,000	業務委託費
8. 水の天使出演料	79,485	
9. その他	124,740	名刺印刷
計	1,482,689	(B)
収 支 差 額(A)-(B)	589,333	次期繰越金

平成25年5月21日

下水道広報プラットフォーム(GKP)

監査人 亀田泰武 印

平成25年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

平成25年度事業計画（案）

下水道界で展開されている広報活動を外部につなぐとともに、産官学の垣根を超えた新たな広報活動を展開することを目指し、次の事業を実施する。

I. 発掘・深掘・露出

1. 「GKP広報大賞」の企画・実施

下水道界で展開されている広報活動のうち、他業界への効果的な訴求など、各下水道インフラの価値を高めるうえで優れていると思われる広報活動事例を広く発掘、表彰し、下水道界に広く普及させていくことを目的として、平成24年度「GKP広報大賞」を設置し、38件の応募をいただいた。

本年度は5月に審査会を実施し、表彰式（発表会含む）は7月末の下水道展'13東京のパブリックゾーンで実施することとしている。

GKP広報大賞の賞区分は下記のとおりである。

グランプリ、準グランプリ、部門賞（(1)報道部門（①テレビ報道部門、②新聞報道部門、③雑誌等報道部門）、(2)広報部門（①行政広報部門、②企業・団体等部門）、(3)広告部門、(4)電子媒体部門）を設置。

2. メールマガジンの発信

会員への情報提供を目的に、メールマガジンを発信する。

3. 個々の会員が持つメディアの活用

個々の会員が持つメディアを活用した情報発信を行う。

・タウン紙「江戸まち通信」への記事掲載（平成25年7月号）、外

4. 地域FM局の番組で下水道情報を放送

平成25年7月に、地域FM局「レインボウタウンFM」で下水道に関する情報を放送する。

5. 一般紙への下水道関係記事広告掲載に対する制作協力

平成25年9月頃に日本下水道施設業協会傘下企業による一般紙への広告掲載に対する制作協力を行う。

6. 雑誌の下水道特集号発行に対する編集支援

平成25年7月に一般雑誌「pen+」(別冊 mook)が下水道特集号を発行するに際し、編集への支援を行う。

II. 場の創出(提供)

1. わいがやトーク(一木会)の開催

1・2月間に一回、下水道広報関係等に関する講演、シンポジウム等を第1木曜日に開催する。

2. 学生会員の新設と活動

学生会員を新設する。学生会員にはメルマガ等の情報発信を行い、下水道界への就活支援や下水道施設等見学会等を開催する。公共団体や民間企業とも連携して行っていく。

3. 「GJリンク」の設立

下水道界の女性間の情報交流等を行い、絆を深めることを目的とした、下水道キャリアアップ支援ワークショップ「GJリンク」を設立し、開催することとしている。

日 時：平成25年5月15日(水)

場 所：(公社)日本下水道協会

参加予定：国、地方自治体、民間企業等の女性

4. 全国下水道事業広報会議の開催(国交省との共催)

地方自治体の下水道広報担当者等のレベルアップ及び地方自治体からの広報活動の活性化を図るため、国土交通省と共催し、6月に全国下水道事業広報会議(仮称)を開催する。

5. デザインマンホールサミットの開催

デザインマンホールに関心を持つ人・団体等によるデザインマンホールサミットの開催を行う。

6. 下水道場の開催支援

全国の下水道若手職員の情報ネットワークである「下水道場」開催の支援を行う。

7. キッチン・バス工業会との連携

キッチン・バス工業会と連携し、下水道施設見学会を実施するほか、全国ショールームとの連携策を検討する。

Ⅲ. 特別企画の実施

1. 「下水道展'13 東京」パブリックゾーン等の企画

本年7月30日（火）から4日間、下水道展'13 東京が開催されるが、下水道協会の依頼により、GKPがパブリックゾーンの展示内容について企画する。

開催日：平成25年7月30日（火）～8月2日（金）

場所：東京ビッグサイト（東展示棟4～6号館）

小間数：130小間

2. エコプロダクツ2013の企画及び出展

21世紀の下水道を考える会協議会がエコプロダクツ2013に出展するにあたり、GKPが展示内容を企画するとともに、協賛企業を募る。

開催日：平成25年12月12日（木）～14日（土）

場所：東京ビッグサイト（東展示棟）

3. 大人の社会科見学ツアーの実施（クラブツーリズムとの連携）

単なる下水道施設の見学ではなく、ツアーを文化的な味付けをして下水道関係施設の見学等を行う「大人の社会科見学ツアー」をクラブツーリズムと連携して実施する。

（候補先）

- ・葛西水再生センター視察と葛西臨海公園ホテルシーサイド江戸川でのダイエットレシビ堪能ツアー

4. 「水の天使」の活用と検討

- ・2013年は、2013年「水の天使」に定時総会、下水道展'13 東京、エコプロダクツ2013への出演を依頼する。
- ・2012年「水の天使」の活用については、GKPと酒井美帆さんとで継続的な活用が可能かどうかを検討する。

Ⅳ. 基礎構築

1. ホームページの管理・運営

ホームページは、活動方針、イベント情報、活動結果報告、情報共有等

のサイトを設け、情報提供を行っているが、今後はもっと多くの下水道情報を掲載することとしたい。

2. クラウドシステム「WBC」の管理・運営

団体会員であるメタウォーター(株)のご協力により、GKP会員・運営委員・役員間の情報共有等を目的にクラウドシステム「WBC (ウォーター・ビジネス・クラウド)」を活用しているが、さらに充実することとしたい。

3. 下水道情報プラットフォームの充実

V. その他

1. 初年度の活動の改善と一層の推進

2. 会員の拡大

3. 企画運営委員以外のGKP会員企画提案と実施、外

平成25年度下水道広報プラットフォーム(GKP)収支予算(案)

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

○収入の部

項 目	平成25年度予算額	内 訳
1. 前期繰越金	589,333	
2. 未収会費	41,000	個人11名、団体1社
3. 年会費(個人会員)	700,000	700名を見込む
(団体会員)	1,020,000	34社を見込む
2. エコプロダクツ2013協賛金	336,000	協賛企業3社を見込む
3. 総会、一木会懇親会費収入	180,000	1,000円×30名×6回を見込む
4. その他	67	普通預金利息
計	2,866,400	(A)

○支出の部

項 目	平成25年度予算額	内 訳
1. 総会費	250,000	講師謝金、資料印刷
2. 役員会費	50,000	会議費、資料印刷
3. 企画運営委員会費	250,000	委員旅費、資料印刷、会議費
4. 事業活動費	976,000	
1)GKP広報大賞審査会費	110,000	委員謝金、資料印刷
2)全国下水道広報会議費	150,000	委員旅費、資料印刷
3)下水道施設見学会費(学生対象)	60,000	資料代等 2,000円×30名
4)下水道女子会(仮称)設立費	130,000	講師旅費、資料代等 2,000円×50名
5)エコプロダクツ2013出展支援	336,000	協賛金
6)大人の社会科見学ツアー	40,000	資料代等 2,000円×20名
7)水の天使出演料	150,000	総会司会、GKP大賞選考委員
5. パンフレット作成費	50,000	印刷費
6. 会員証発行費	5,000	作成費、発送費
7. 総会、一木会費	600,000	講師謝金、資料印刷、懇親会
8. 事務委託費	378,000	業務委託費
9. その他(事務費)	107,400	名刺印刷、振込手数料等
10. 予備費	200,000	
計	2,866,400	(B)
収 支 差 額(A)-(B)	0	

平成25年度及び平成26年度予算について、予算成立までの期間は前期繰越金の範囲で必要最小限執行できるものとする。

平成 25 年 5 月 27 日

「下水道広報プラットフォーム」規約の改定（案）

第 1 章 総 則

（名称） G K P

第 1 条 本団体は、「下水道広報プラットフォーム」（以下、頭文字をとり「GKP」という。）という。

（目的）

第 2 条 下水道は暮らしや社会経済を支えている私たちの財産です。この財産を未来へ引き継ぎ、活かしていくためには、利用者である国民一人ひとりに下水道の理解を深めてもらう必要があります。

GKP は、これまで下水道界で展開されてきた広報活動を外部につなぐとともに、産学官の垣根を超えた新たな広報活動を展開する下水道界のプラットフォームとして機能することを目指します。

（活動）

第 3 条 前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1 全国各地に埋もれているネタ・リソースの発掘・深掘
- 2 広報事例の収集・共有化
- 3 適切なターゲットへの情報発信
- 4 付加価値を付けたマスコミへの発信
- 5 下水道界の各プレイヤーがつながりたいと考える対象とつながる場の提供
- 6 自治体・企業と学生をつなぐリクルー的な情報交換会の開催
- 7 マスコミ、オピニオンリーダー等の講演会、情報交換会の開催
- 8 産学官の垣根を超えた新しい企画の実施
- 9 その他、下水道関係の広報に関する活動

第 2 章 会 員

（会員）

第 4 条 会員は、この目的に賛同して入会した個人及び団体とする。

（入会）

第 5 条 入会しようとするものは、会長に申し込み、次の各号に該当すると会長が認めるとき、入会を承認する。

- 1 GKP の趣旨を十分理解し協力が得られること。
- 2 GKP 会員としてふさわしい活動が行えること。

（会費）

第6条 本会の会費は、次のとおりとする。

- 1 個人会員は、年額1,000円
- 2 団体会員は、年額1口につき 3万円

(会員の資格の喪失)

第7条 会員が次の各号の一に該当する場合には、会員の資格を喪失する。

- (1) 退会の届けを提出したとき。
- (2) 個人会員が死亡若しくは失踪宣告を受け、又は団体が消滅したとき。
- (3) 継続して2年以上会費を滞納したとき。

(退会)

第8条 会員は、退会届けを会長に提出して、任意に退会することができる。

(会費の不返還)

第9条 既に納入した会費は返還しない。

第3章 役員等

(種別及び定数)

第10条 このGKPに、次の役員等を置く。

- (1) 理事 3人以上10人以内
- (2) 監事 1人以上2人以内
- 2 理事のうち1人を会長、2人を副会長とする。
- 3 会長は、GKPを代表し、その運営を統括する。
- 4 副会長は、会長を補佐し会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 5 監事は、GKPの決算を監査する。
- 6 必要により、アドバイザーを置くことができる。

(役員等の選任及び任期)

第11条 会長、副会長、理事および監事は、会員の中から総会で選任する。

- 2 役員等の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 アドバイザーは、会長が指名する。
- 4 アドバイザー及び企画運営委員の任期は、会長が定める。

第4章 会 議

(総会)

第12条 会員をもって構成する総会は毎年1回会長が招集して開催する。

ただし、会長が必要と認めたとき、または会員の二分の一以上により会議の目的を示して請求があったときは臨時総会を開催することができる。

2 総会の議長は、その総会に出席した会員の中から選出する。

(総会付議事項)

第13条 総会に付議する事項は、次のとおりとする。

- (1) 規約を制定、改正すること。
- (2) 役員等の選任又は解任
- (3) 事業計画及び予算を承認し、事業報告を承認し決算を認定すること。
- (4) 会費を制定、改定すること。
- (5) 前各号のほか、運営上の重要事項を決定すること。

(総会の定足数)

第14条 総会は、個人会員及び団体会員の10分の1以上の出席がなければ開会することはできない。

(総会の議決)

第15条 総会の議決は、会員の出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(会員の表決権)

第16条 会員の表決権は、個人会員及び団体会員が各1票を有するものとする。

- 2 やむを得ない理由により総会に出席できない会員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は表決権の行使を会長に委任することができる。
- 3 前項の規定により表決した会員は、16条及び前条の規定の適用については出席したものとみなす。

(理事会及び企画運営委員会)

第17条 会長、副会長、理事および監事は、理事会を構成し、総会に付議すべき事項を審議するほかGKPの運営事項について決定する。

- 2 理事会は会長が招集する。
- 3 理事会は、理事の過半数の出席により成立し、その議事は出席者の過半数の賛否をもって決する。可否同数の場合は、議長の決するところによる。
- 4 理事会は必要に応じて、企画運営委員会、部会を置く。
- 5 企画運営委員会は、GKPの事業に関する企画及び実施を行い、GKPの円滑な運営を行う。
- 6 企画運営委員会は、委員長、副委員長及び委員により構成し、これらは理事会が専任する。

第5章 その他

(寄付)

第 18 条 GKP は、本会の趣旨に賛同する者から、寄付を受けることができる。

(会計年度)

第 19 条 GKP の会計年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日に終わる。

(事務局の設置)

第 20 条 GKP の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局は、公益社団法人日本下水道協会総務部広報課に置き、事務局長は広報課長とする。

附則

この規約は、平成 24 年 6 月 25 日から施行する。

附則

この規約の一部変更は、平成 25 年 5 月 27 日（第 2 回定時総会の日）から施行する。

平成25年5月27日

下水道広報プラットフォーム（GKP） 理事及び企画運営委員等名簿

会 長	長岡 裕	（東京都市大学教授）
副 会 長	前田 正博	（東京都下水道サービス（株）社長）
”	松木 晴雄	（（一社）日本下水道施設業協会会長）
理 事	栗栖 聖	（東京大学先端科学技術研究センター講師）
監 事	亀田 泰武	（NPO21世紀水倶楽部理事長）
アドバイザー	岡久 宏史	（国土交通省下水道部長）
”	小林 由夏	（（一社）水と環境の未来研究所）
”	曾小川久貴	（（公社）日本下水道協会理事長）
企画運営委員長	加藤 裕之	（国土交通省下水道部流域管理官）
企画運営副委員長	栗原 秀人	（メタウォーター（株）技監）
企画運営委員	阿南 理恵	（メタウォーター（株）経営戦略室広報部チーフ）
”	阿部 千雅	（（公社）日本下水道協会技術研究部専門調査役）
”	荒井 健	（月島機械（株）総務人事部総務グループ副参事）
”	石塚 晋	（（株）日本水道新聞社新聞事業部日本下水道新聞編集部長）
”	井上 佳昭	（東京都下水道局総務部広報サービス課長）
”	茨木 誠	（国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課課長補佐）
”	植松 龍二	（国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課下水道事業調整官）
”	金城 弘典	（日本下水道事業団事業統括部計画課）
”	斎野 秀幸	（滋賀県琵琶湖環境部下水道課主席参事）
”	田雑 重信	（（公社）日本下水道協会総務部長）
”	春田 満雄	（前澤工業（株）広報・IR部部長）
”	藤原 昇	（日之出水道機器（株）広報担当執行役員）
”	本田 康秀	（横浜市環境創造局下水道計画調整部下水道事業調整課担当課長）
”	山地 健二	（神戸市建設局下水道河川部計画課長）
事務局	佐藤 利和	（（公社）日本下水道協会総務部広報課長）
”	照井 仁	（（公社）日本下水道協会総務部広報課主幹）
”	清水 龍郎	（（公社）日本下水道協会総務部広報課主任）